

リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立幸手中学校（埼玉県）【指定校】

【取組内容】 デジタル・シティズンシップの視点を取り入れた情報活用能力の育成

実用的切り口から当事者意識を高める育成



【アプリ開発団体による授業】

- ・ 情報収集や取扱い方法を学び、さらにファクトチェックの視点をゲーム形式で学習。
- ・ 「疑う、調べる、判断する」の3つのステップから、グループで情報を分析し、自らの力で判断するプログラム。
- ・ 最後にスタッフからワークショップが行われ、情報活用能力の育成の観点から本時の取組の振り返りと解説。

※今まで取り組んだDcの実践編として位置づけ、中学3年生を対象に企画・運営された。

- ・ 現在我々の周りを取り巻く情報の取扱い環境から、生成AIの特性危険性等を学び、実際に体験することで活用する力を学習。
- ・ グループワークを活用し、協働編集で使い方を学習。

